

鹿追町で開かれた「EVでエコラリー2024」の催しでは20日、水素事業関係者らによる懇親会が開かれ、山梨大学水素・燃料電池ナノ材料研究センターの吉積潔特任教授が「北海道の水素活用の可能性」と題し講演した。概要を紹介する。

山梨大 吉積特任教授



町にはすでにあり、それを町の中だけで閉じてしまおうという思いもたっていないし、燃料電池車だけが水素の使い方かというところ、決してそうではない。ただ、これは工業や産業などの世界の話。一般の人が水素に親和性を持ち、普通の生活で使えと知っても、ハードを開発することは頑張らなければならない。技術で乗り越

牛1頭から燃料電池1年分



▲水素グリルで調理した鹿追チヨウザメの切り身や牛肉などを試食する来場者。会場では水素のさまざまな活用が実演された

EVと水素 光る可能性

鹿追・上士幌で体感イベント

▼山梨大学の吉積潔特任教授(左)による親子体験教室。子どもたちが水素を燃料にしたミニロケットの実験を通して水素への理解を深めた



▶試作段階にある、水素で走る新型電動アシスト自転車(FCC自転車)。来場者は興味津々で、試乗した人からは「乗りだしが軽くて快適」と感想



【鹿追・上士幌】電気自動車(EV)や次世代エネルギー「水素」の魅力を体感する「EVでエコラリー2024」(実行委主催)が展開されている。鹿追町の道の駅しかおひ(特設会場)で20、21日に開かれた催しでは、水素を活用した燃料電池車や電動アシスト自転車、グリルなど脱炭素化に向けた関連製品が並んだ。10月5日からはスタンプラリーが始まり、ラリー最終日の同13日に、上士幌町内の道の駅かみしほろで車両展示などが行われる。来場者が試乗などを通して水素への理解を深めた、鹿追町内でのイベントの様子を写真で紹介する。

(文・小野寺俊之介、写真・長尾悦郎通信員)



▼水素で走るトヨタの燃料電池車「FCV(FCV)」。展示された会場

ビジネスへ好循環増やす

村岡実行委員長に聞く



EVの魅力や意義について語る村岡実行委員長

「EVでエコラリー2024」(実行委主催)では、環境問題や脱炭素に向けた新たな生活スタイルについて発信している。実行委は、温室効果ガス排出削減へ先進的に取り組む「脱炭素先行地域」の鹿追、上士幌の両町とNPO北海道十勝バリエーションをすすめる会、村岡克己実行委員長にイベントの意義や狙いについて聞いた。(大健太郎)

「なせ企画したのか。排ガスを排出しない電気自動車(EV)を通して、新しいエネルギーの自動車への理解を深めて、身近に感じてもらおうと企画した。全鹿追は牛のふんからバイ

初めの開催だったが、予想以上の来場者があり、試乗体験してもらった。EVの台数はまだまだ少ないけれども、興味のある人が多くは取れた。EVの理解度や認知度を上げていくことで、EVステーションの数を増やし、ビジネスにつながる循環を増やしていければと考えている。脱炭素先行地域に選定されている鹿追と上士幌の両町の印象は、

大規模停電に備える。EVの可能性について。全家庭がEVを所有するのは難しいかもしれない。ただ、今走っている車が30%ほど減れば、排ガスも30%減って地球温暖化を抑制することにつながる。昼に太陽光で発電した電力をEVのために、夜に使うことで新しいエコになる。また、胆振東部地震が発生した全域停電(ブラックアウト)を教訓に、災害時にも活用



電子版で動画見る

大雪山周辺をEVで回ろう
10月5日からスタンプラリー

「EVでエコラリー2024」では10月5日から13日まで、大雪山国立公園90周年を記念した「EVでエコラリー」大雪山国立公園一周道の駅スタンプラリーも行う。EV、燃料電池車(FCV)、プラグインハイブリッド車(PHEV)で大雪山国立公園周辺の道の駅を回るルートを設定されているのは、上勝と上川管内の7カ所の道の駅など。設置されているイベント専用のQRコードをスマートフォンで読み取って、事務局に送る。ほか、チェックポイントとして

「EVでエコラリー2024」(実行委主催)では、環境問題や脱炭素に向けた新たな生活スタイルについて発信している。実行委は、温室効果ガス排出削減へ先進的に取り組む「脱炭素先行地域」の鹿追、上士幌の両町とNPO北海道十勝バリエーションをすすめる会、村岡克己実行委員長にイベントの意義や狙いについて聞いた。(大健太郎)

排ガスを排出しない電気自動車(EV)を通して、新しいエネルギーの自動車への理解を深めて、身近に感じてもらおうと企画した。全鹿追は牛のふんからバイ

初めの開催だったが、予想以上の来場者があり、試乗体験してもらった。EVの台数はまだまだ少ないけれども、興味のある人が多くは取れた。EVの理解度や認知度を上げていくことで、EVステーションの数を増やし、ビジネスにつながる循環を増やしていければと考えている。脱炭素先行地域に選定されている鹿追と上士幌の両町の印象は、

大規模停電に備える。EVの可能性について。全家庭がEVを所有するのは難しいかもしれない。ただ、今走っている車が30%ほど減れば、排ガスも30%減って地球温暖化を抑制することにつながる。昼に太陽光で発電した電力をEVのために、夜に使うことで新しいエコになる。また、胆振東部地震が発生した全域停電(ブラックアウト)を教訓に、災害時にも活用

実行委は「自然豊かな大雪山国立公園周辺を走りたい」として、環境に優しいEVでドライブを楽しんでほしいとしている。参加には事前登録が必要。詳細はQRコードへ。

2つの店舗があり、買い物をしてレシートをQRコードでメールで送信する。ラリー参加者は、最終日の13日上士幌町内で行われるイベントで特典がある。直線距離200キロメートルのシミュレーションやEVラリー参加者ミーティングに参加できる。

実行委は「自然豊かな大雪山国立公園周辺を走りたい」として、環境に優しいEVでドライブを楽しんでほしいとしている。参加には事前登録が必要。詳細はQRコードへ。

EVスタンプラリー対象スポット

- ▽十勝管内=道の駅しかおひ、道の駅おとふけ、道の駅かみしほろ
- ▽上川管内=層雲峡温泉黒岳ロープウェイ前(上川町)、道の駅ひがしかわ、道の駅ひがし「丘のくら」、道の駅ふらの
- ▽チェックポイント=柳月スイートピア・ガーデン(音更)、壺屋総本店(旭川)



そばの美味しい季節です

新そばが楽しみな時期がやってきました。
十勝は言わずと知れたそばの産地。
さあ、今日はどの店で「ずずっと」やりますか?



- 十勝のそば図鑑
新得町 新得そば
新得町農業協同組合
そば処 せきぐち / そば処 みなとや / そばレストラン 玄穂 / 蕎麦 十箱
- 鹿追町 ぼたんそば
西上経営組合
めん処 しかめん / そば かとう
- 大樹町 十勝海霧そば
オーランドファーム / 開拓舎とかち / そば乃 兎月
- 「麺じゃないそば」コレクション
十勝養蜂園 / 新得そばの館 / 竹屋製菓
- 引き継がれる伝統の味
正己 養食堂 / かし和家 / そば蔵 大正(笑)庵
- 今日の気分に応える 十勝そば屋めぐり
そば処 丸福 / お食事処 四季 / 蕎麦 二天 / 蕎麦人 別邸 / 蕎麦処 目分料 / そば処 丸三真鍋
- 十勝全州市町村の名産コレクション



ちやい
Chai 10 No.379 2024 月号
10月号

9/24(火)発行!

本日より1週間ほどでお届けします。

133,500部発行

発行:十勝毎日新聞社 ポスティングエリア:帯広市、音更町、芽室町、幕別町の市街地。1市3町の市街地以外とその周辺の町村は、十勝毎日新聞購読世帯。※掲載内容は9月9日時点の情報です。営業状況などは各店にお問い合わせください。



Chai11月号広告受け付け中!(2024年10月29日(火)発行)

申し込み締め切り/2024年10月7日(月)

広告の問い合わせ・申し込みは
十勝毎日新聞社 営業局 ☎0155・23・2323 (平日9時~18時)